



再セットアップガイド

- Windows 95と
添付アプリケーションの再セットアップ
- 他のOSを利用する

NECパーソナルコンピュータ
PC-9800シリーズ
PC-9821 C233

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・ 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。

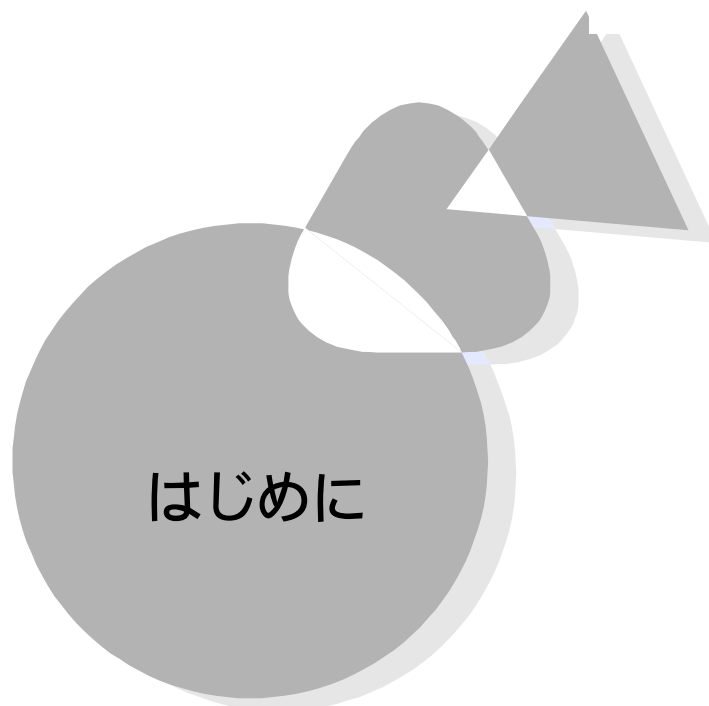
Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

AN761A



本書はPart1でWindows 95のシステムと添付アプリケーションを本機添付の「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、復元する手順を説明しています。
Part2では他のOSを利用するためのアップグレードや注意事項について説明しています。

1997年6月 初版



このマニュアルの構成

なお、このマニュアルは次の機種を対象にしています。

・ PC-9821C233/V



Part 1

Windows 95 と 添付アプリケーションの再セットアップ

Windows 95のシステムと添付アプリケーションの復元について説明しています。ここでは本機のハードディスク内のプログラムファイルが不正になりプログラムが起動できなくなった、システムの一部を誤って消してしまった、添付アプリケーションを誤って消してしまった場合などに、本機添付の「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、ご購入時の状態に戻す手順を説明しています。

また、独自に本機のハードディスク内のシステムやアプリケーションの環境を設定したい方もご覧ください。

なお、本書では、本機のハードディスクの内容をご購入時の状態に戻すことを「再セットアップする」または「再インストールする」といいます。

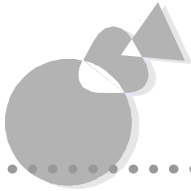


Part 2

他のOSを利用する

MS-DOSやWindowsの知識をもっているユーザの方を対象に、Windows 95以外の別売のOSを本機で利用するための必要な知識や注意事項について説明しています。対象OSは次のとおりです。

・ MS-DOS 6.2



付録

固定ディスク起動メニューやFAT32ファイルシステムを利用する際の必要事項について説明しています。

ソフトウェアの最新情報のお知らせ

製品の最新情報、ソフトウェアのアップデートサービスの情報(ソフトウェアの強化・修正情報、モジュールの入手情報)を、FAXサービス、パソコン通信、インターネットでご案内しております。

- ・ NECパソコン情報FAXサービス
FAX 東京：(03)3769-9821
大阪：(06)304-9821
- ・ パソコン通信
PC-VAN NECパソコン情報 (J NECPC)
NIFTY-Serve NEC Information Center Forum (GO FNECINFO)
- ・ インターネット
98Information URL <http://www.nec.co.jp/98/>

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性もあります。



参考にしていただきたいことを説明しています。



参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

本機	PC-9821C233/V本体と、マウスやキーボードなど、本体に接続されている周辺機器を含む、システム全体を指します。
本体	マウスやキーボードなどの周辺機器を含まない、PC-9821C233/Vを指します。
キーボード	本機添付のワイヤレスキーボード、および別売のPC-9800シリーズ用キーボードを指します。
Windows	Windows 95を指します。
MS-DOS	MS-DOS® 6.2を指します。
MS-DOSモード	Windows 95のMS-DOSプロンプトの状態を指します。
[XXX]	[]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[OK]ボタン
ESC	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

MS-DOSのコマンド書式で使用されている記号には、次のような意味があります。

< >	この中の項目は、必ず入力します。
[]	この中の項目は、必要に応じて入力します。
	この記号で区切られた項目のうち、どれか一つを入力します。

記載されているアプリケーションなどの製品の正式名称は、以下のとおりです。

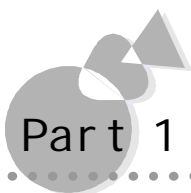
本文中の表記	正式名称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System

本文中で使われている用語で、わからない用語が出てきた場合は、『困ったときにお読みください』の「パソコン用語集」をご覧ください。

本文の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。

目次

はじめに	
このマニュアルの構成	iv
このマニュアルの表記について	vi



Part 1 Windows 95 と 添付アプリケーションの再セットアップ

再セットアップする前に	2
再セットアップする手順	5
標準再セットアップ	6
1. 簡単に再セットアップする	6
2. Windows 95の設定をする	9
カスタム再セットアップ	14
1. 領域を削除する	14
2. 領域を確保する	19
3. ドライブをフォーマットする	27
4. システムを再セットアップする	29
5. Windows 95の設定をする	32



Part 2 他のOSを利用する

MS-DOSを利用する	40
MS-DOS 6.2の利用	40



付録

固定ディスク起動メニューの利用	50
FAT32ファイルシステムの利用	53

Part 1

Windows 95と 添付アプリケーション の再セットアップ

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを復元する方法を説明しています。ここでは、標準再セットアップとカスタム再セットアップに分けて説明しています。なお、「再セットアップする前に」は必ずお読みください。

再セットアップする前に
標準再セットアップ
カスタム再セットアップ

Part 1

Windows 95と添付アプリケーションの再セットアップ

再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

再セットアップを始める前に必ずお読みください。

再セットアップが必要になるとき

次のような状況のときに、本機を再セットアップしてください。

- ・ ハードディスク内のプログラムファイルが不正になりプログラムが起動できなくなった
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった
- ・ 電源をONにしても、システムが起動しない
- ・ 本機内蔵のハードディスクを購入時と異なるドライブ構成で使いたい

再セットアップに関する注意

- ・ 再セットアップを実行する場合は、本書に記述されている手順に従い、必ず最後まで行ってください。途中で再セットアップを中止すると、誤動作の原因となります。また、ファイルのコピー中およびハードディスクのフォーマット中は、画面からの指示がない限り、絶対に電源スイッチを押さないでください。
- ・ バックアップCD-ROMで再セットアップできるのは、本機に標準で添付されていたソフトウェアのみです。お客様ご自身が、後からインストールされたアプリケーションや、作成されたデータは復元されません。お客様ご自身が後から変更した設定やデータはすべて消え初期状態に戻ります。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器の設定はシステムの再セットアップ後にもう一度、設定しなおしてください。周辺機器の設定については『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』または『ステップアップガイド』や周辺機器のマニュアルをご覧ください。また、再セットアップを行う前に大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・ ハードディスクの領域が複数ある場合、再セットアップは、第1パーティション(③P. 17)の領域に対して行うようになっています。
- ・ 再セットアップ中は、フロッピーディスクから『Windows 95再セットアップ』を起動して行うようになっているため、次のようなドライブ構成となります。

フロッピーディスクドライブ	Aドライブ
ハードディスクの第1パーティション	Bドライブ
DVD-ROMドライブ	Qドライブ

- ・ 「再セットアップが終了しました」というメッセージが画面に表示されなかった場合は、再セットアップは正常に終了していません。初めから再セットアップをやりなおしてください。
- ・ 本機内蔵ハードディスクのパーティションを再分割する場合、領域確保できるパーティションあたりの最大サイズは2047Mバイトです。

- ・ 本機にインストールされているWindows 95は、市販品と異なり、本機固有の機能に対応しています。
- ・ 本機にインストールされているアプリケーションソフトを個別に再インストールすることはできません。

準備するもの

本機に添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

- ・ バックアップCD-ROM
- ・ システムインストールディスク
- ・ Microsoft Windows 95ファーストステップガイド
マニュアルの表紙に「Product ID」が記載されています。

必要なハードディスクの空き容量

カスタム再セットアップで領域を複数に分割する場合、ハードディスクに次の容量が必要になります。




- ・ PC-9821C233/V 850Mバイト以上

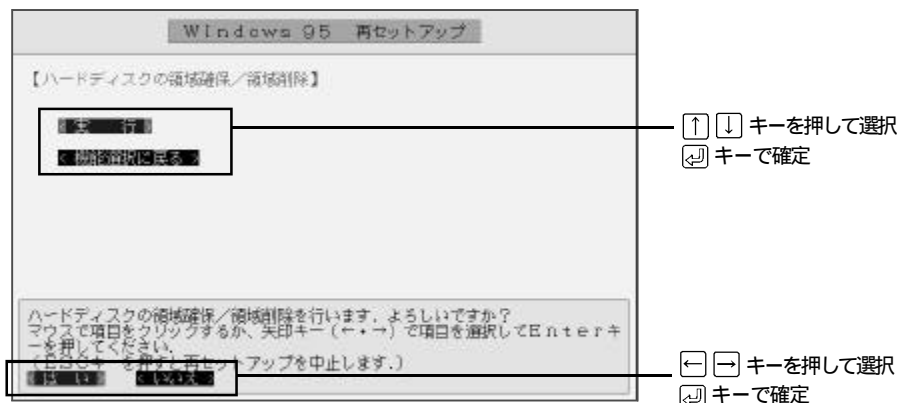
操作方法について

[Windows 95再セットアップ]画面での操作方法

[Windows 95再セットアップ]画面での操作は、キーボードでもマウスでも行うことができます。次に操作方法について例を示します。

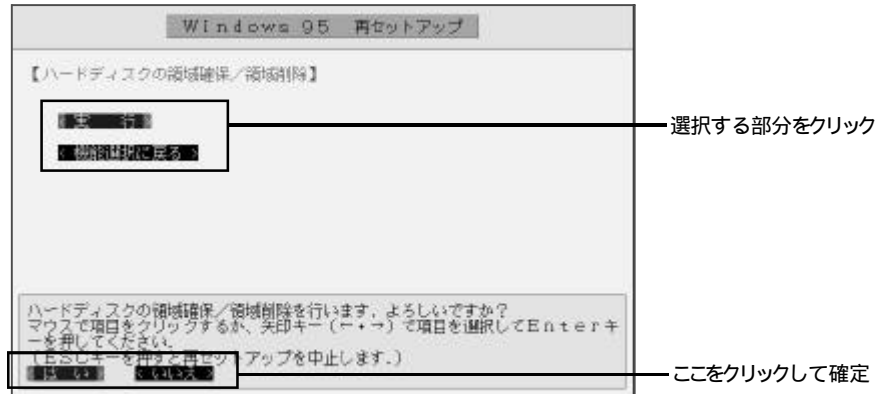
・ キーボードで操作する


本文中で「選択する」と表記されている場合は、  キーを押して選択した項目の表示色を変えます。 キーを押して確定します。



・マウスで操作する

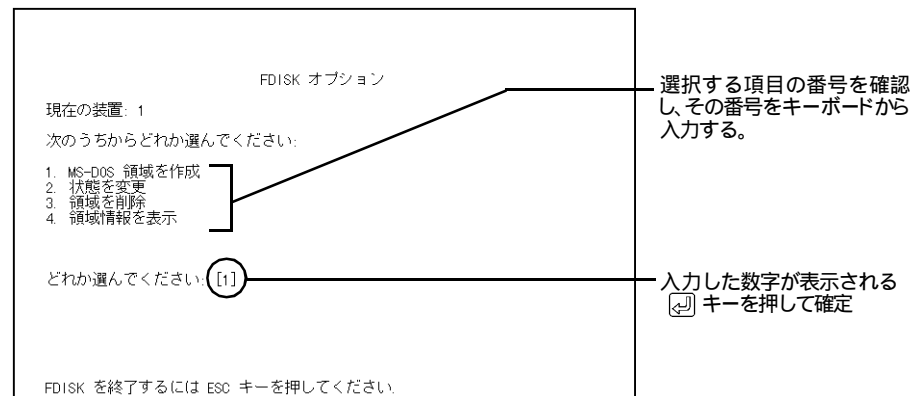
本文中で「選択する」と表記されている場合は、選択する部分をクリックします。



 マウスで操作できるのは「Windows 95再セットアップ」の画面のみです。その他の「FDISKオプション」の画面は、マウスでは操作できません。

[Windows 95再セットアップ 画面以外での操作方法

[FDISKオプション 画面などは、キーボードで操作します。



再セットアップする手順.....

標準再セットアップ(推奨)

購入時と同じ状態に戻す場合の再セットアップ方法です。

簡単にセットアップしたい方、または購入時と全く同じドライブ構成で使いたい方は、次の手順でセットアップしてください。

1. 簡単にセットアップする

2. Windows 95の設定をする

カスタム再セットアップ

独自にシステム環境を設定する場合の再セットアップ方法です。

領域の確保やドライブの初期化(フォーマット)などの作業を自分で行います。ドライブを再構成して、領域のサイズを自分で設定します。購入時と異なるドライブ構成で使いたい方は、次の手順で再セットアップしてください。

必須 どちらかを選択

1. 領域を削除する

2. 領域を確保する

2-A. 最大のサイズを割り当てる

2-B. 領域を分割する

3. ドライブをフォーマットする

4. システムを再セットアップする

5. Windows 95の設定をする

標準再セットアップ

購入時と全く同じドライブ構成にしたい場合に、この方法で再セットアップしてください。簡単に再セットアップできるので、初心者の方向けの再セットアップ方法です。

1. 簡単に再セットアップする.....

この手順で再セットアップを行うと、ハードディスクの領域はご購入時と同じ状態に分割されます。

領域の削除や領域の確保からシステムの再インストールまで自動的に行われるので、簡単に再セットアップを行うことができます。



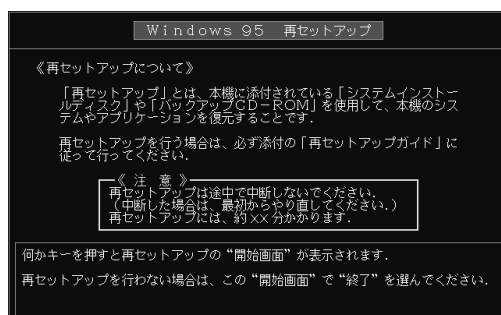
標準再セットアップを行うと、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルはすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合は、必ずフロッピーディスクなどに保存してください。

- 1 本体の電源をONにします。
- 2 電源表示用LEDが点灯したら、すぐに「(起動用)」と書かれたシステムインストールディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

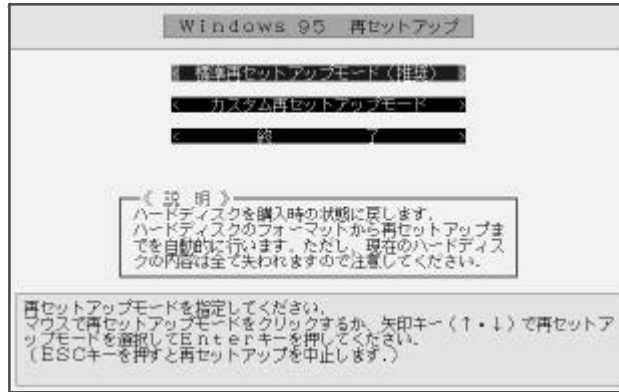


フロッピーディスクのセットが遅かった場合、手順3の画面は表示されません。その場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源をOFFにして、再度手順1、2の操作を行ってください。

- 3 次の画面が表示されます。内容をよくお読みのうえ、何かキーを押してください。



- 4 次の画面が表示されたらバックアップCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットします。



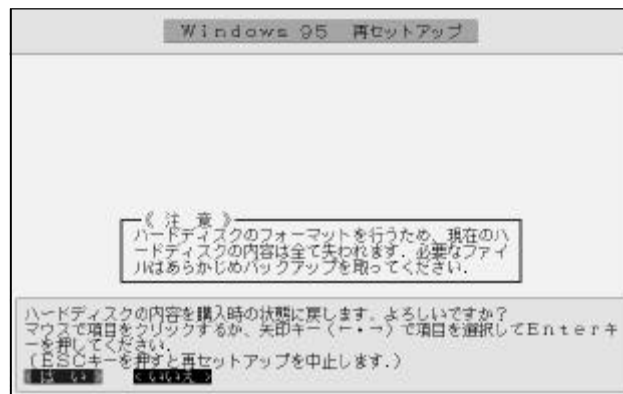
CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする方法や、DVD-ROMドライブから取り出す方法については『ステップアップガイド』をご覧ください。



再セットアップを中止したい場合は、ここで「終了」を選択して「Enter」キーを押してください。
これ以降は、再セットアップを途中で中止することはできません。

- 5 [標準再セットアップモード(推奨)] を選択して 「Enter」 キーを押します。

- 6 [はい] を選択して「Enter」キーを押します。



ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが自動的に始まります。ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップには、60分程度がかかります。

途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示される場合は、画面の指示にしたがってフロッピーディスクを入れ替えてください。




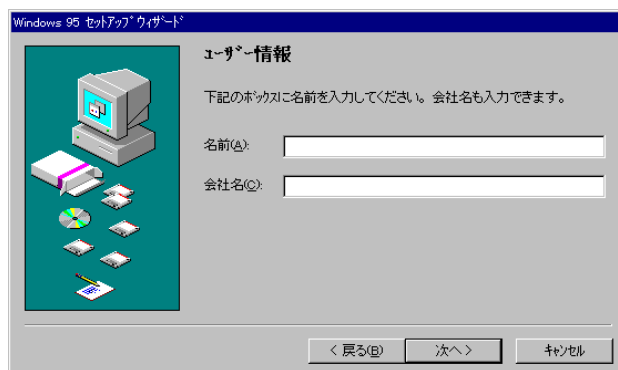
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。また、電源スイッチを押さないでください。

- 7** ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終了すると次の画面が表示されます。フロッピーディスクドライブからシステムインストールディスクを、DVD-ROMドライブからバックアップCD-ROMを取り出してください。



CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする方法や、DVD-ROMドライブから取り出す方法については『ステップアップガイド』をご覧ください。

- 8** [OK] をクリックするか、 キーを押してください。自動的にシステムが再起動し、しばらくすると「Windows 95セットアップウィザード」の画面が表示されます。



次に「2 Windows 95の設定をする」に進んでください。

2. Windows 95 の設定をする.....

システムの再セットアップが終わったら、初めて本機の電源をONにしたときと同じように、Windows 95の設定をする必要があります。

1 [ユーザー情報]の画面で、キーボードを使って名前と会社名を入力します。



- ・ ユーザー情報は、Windows 95のライセンスを受けている人の情報を入力してください。
- ・ 会社名は入力しなくてもかまいません。ただし、セットアップ完了後に変更することはできません。
- ・ 名前を入力しないと、次の手順に進むことはできません。
- ・ ここで入力した名前は、セットアップ完了後に変更することはできませんので、ご注意ください。
- ・ ここから先、手順6の画面が表示されるまで「キャンセル」ボタンをクリックしないでください。



漢字変換の例 「田中」と入力する場合

「たなか」と入力します。

キーボードの **T A N A K A** を押します。


キーボードの (スペース)キーを押します。

入力した文字が漢字に変換されて **田中** のように表示されます。

変換したい漢字が表示されない場合は、キーボードの (スペース)キーを押します。

キーボードの **↵** キーを押します。

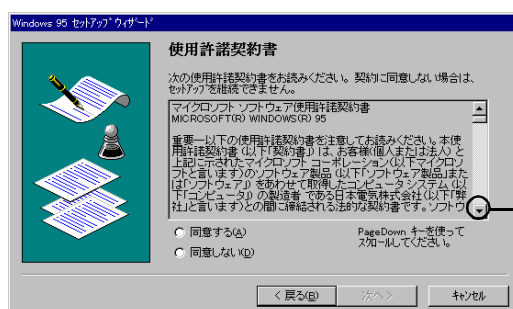
変換した漢字が確定されます。

- ・ 難しい読み方の名前などを入力する場合は、まず ~ の手順で「た」を交換し、次にもう一度 ~ の手順で「なか」を入力するというように、漢字1文字ごとに区切って入力してください。
- ・ ひらがなを入力して、キーボードの (スペース)キーを押さずに  キーを押すと、ひらがなのまま確定することができます。
- ・ 間違えて入力してしまった場合は、**[BS]** キーを押すことで1文字ずつ削除することができます。

文字入力に関する詳しい説明は『かんたんスタートガイド』を、キーボードに関する詳しい説明は『ステップアップガイド』の「キーボード」をご覧ください。

2 入力が終わった[次へ]ボタンをクリックします。

3 [使用許諾契約書]を確認します。確認が終わった[同意する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約書]は大切な情報ですので、画面をスクロールして、必ずお読みください。



スクロールボタンをクリックまたは、キーボードの **[PageDown]** キーを押すと、画面がスクロールする

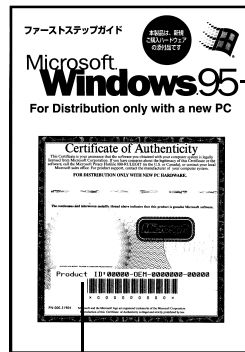


[同意しない]をクリックするとセットアップが中止されます。

4 次の画面が表示されます。キーボードを使ってProduct ID番号を入力します。



Product ID番号は添付の『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



「Windows 95」と書かれているマニュアルです。

表紙のデザインは実際のものとは異なる場合があります。

Product ID番号はここに記載されています。



0(ゼロ)と0(オー)、1(イチ)とI(アイ)など、似ている文字を間違えないように注意してください。



『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』は紛失しないように気を付けてください。
表紙に記載されている「Product ID番号」がないと、再セットアップできません。

5 入力が終わった[次へ]ボタンをクリックします。

6 次の画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。絶対に電源をOFFにしないでください。

- 7** 自動的にシステム環境の設定を行います。システム環境の設定の途中で [プリンタウィザード] の画面が表示されます。プリンタを使用する場合は [次へ] ボタンをクリックします。



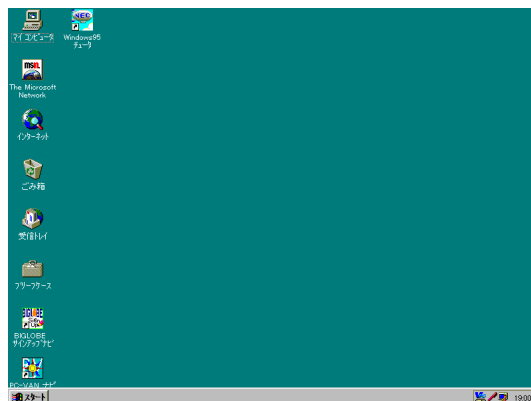
画面に表示される指示にしたがって、[プリンタの製造元とモデルの設定] などの項目を設定してください。

プリンタの設定はセットアップ後に行うこともできます。どのように設定していいかわからない場合やプリンタを使用しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



- プリンタの設定をした場合、プリンタの接続状態に関係なく、1～5分ほど時間がかかることがあります。途中で電源をOFFにしないようご注意ください。セットアップが正常に行われなくなります。
- プリンタの設定について詳しくは、『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』、『ステップアップガイド』の「プリンタを使う」およびプリンタの各マニュアルをご覧ください。

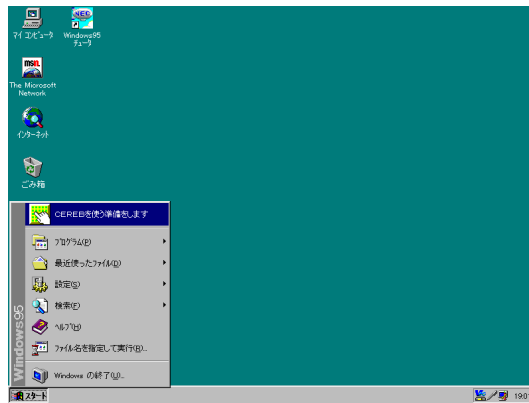
- 8** 自動的にシステムが再起動し、しばらくすると、[Windows 95へようこそ] の画面が表示されますので、[閉じる] ボタンをクリックしてください。次のような画面が表示されます。





ここでWindows 95のデスクトップ画面が表示されますが、本機のセットアップはまだ完了していません。ここではアプリケーションソフトを起動したりせず、必ず手順9以降の操作を行ってセットアップを完了させてください。セットアップを完了しないと誤動作の原因となります。

- 9** [スタート]ボタンをクリックするとスタートメニューが表示されるので、[CEREBを使う準備をします]にマウスポインタを合わせてクリックします。



- 10** 次の画面が表示されるので [次へ] ボタンをクリックします。



- 11** 次のような「CEREBメニュー」の画面が表示されます。



これで、Windows 95の設定は終了です。
 以上で標準再セットアップの作業はすべて終了しました。

カスタム再セットアップ

パソコンの知識があり、ドライブを再構成して領域のサイズを自分で設定したい場合などに、この方法で再セットアップしてください。

なお、購入時に本機にインストールされているアプリケーションソフトを個別に再インストールすることはできません。

1. 領域を削除する.....

カスタム再セットアップを行うには、まず再セットアップ先となるドライブの領域の削除の作業が必要です。



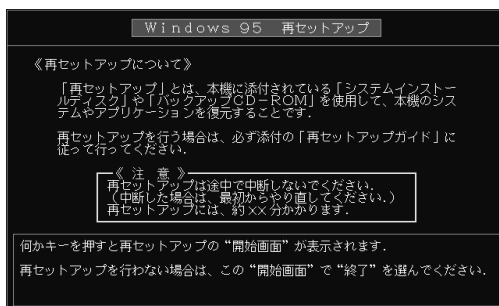
ハードディスクのすべての領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルはすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合は、必ずフロッピーディスクなどに保存してください。


- 1 本体の電源をONにします。
- 2 電源表示用LEDが点灯したら、すぐに「(起動用)」と書かれたシステムインストールディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

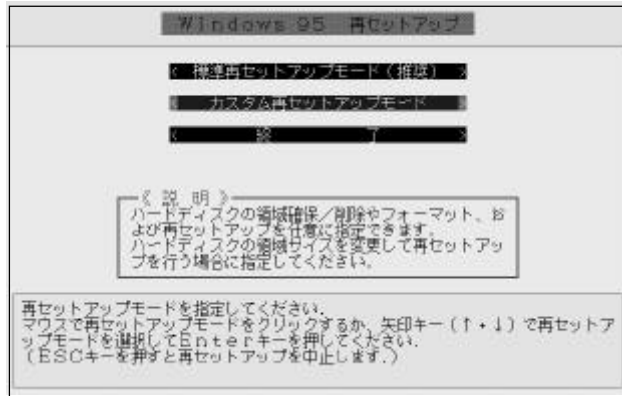



フロッピーディスクのセットが遅かった場合、手順3の画面は表示されません。その場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源をOFFにして、再度手順1、2の操作を行ってください。


- 3 次の画面が表示されます。内容をよくお読みのうえ、何かキーを押してください。

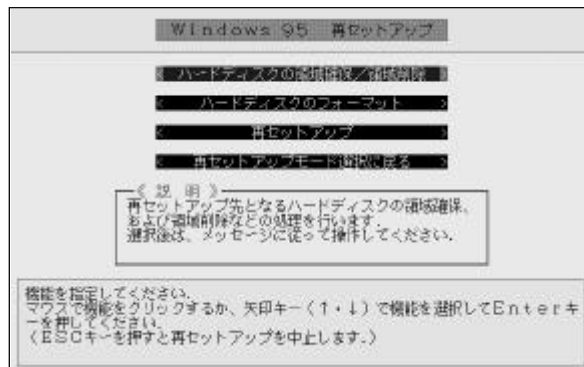



4 [カスタム再セットアップモード] を選択して、 キーを押します。




再セットアップを中止したい場合は、ここで **終了** を選択して  キーを押してください。
これ以降は、再セットアップを途中で中止することはできません。

5 [ハードディスクの領域確保/領域削除] を選択して、 キーを押します。



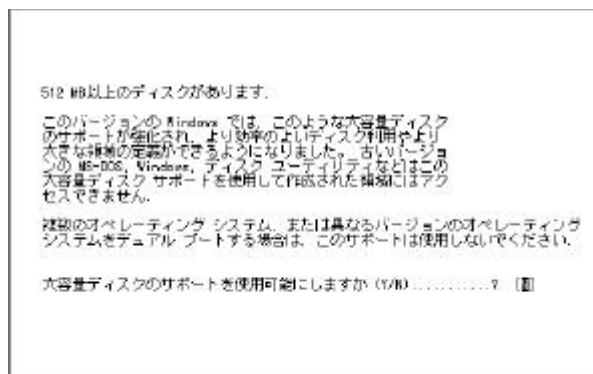
6 [実行] を選択して  キーを押します。




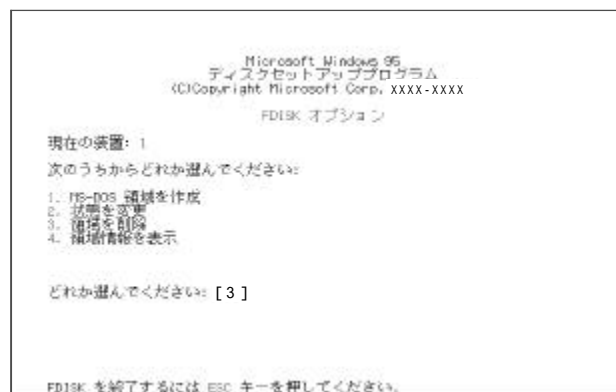
7 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N).....?」と表示されたら **N** キーを押して  キーを押します。




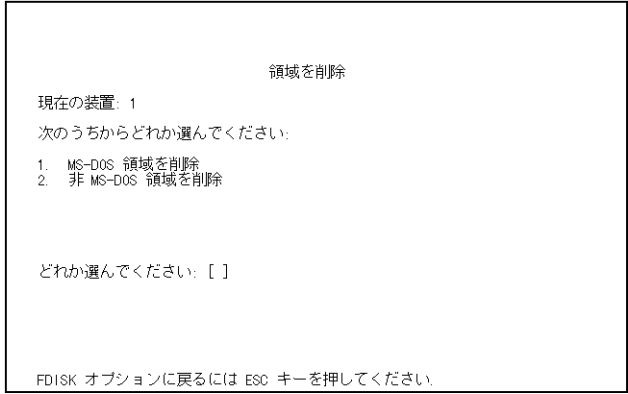
ここでは、必ず「N」を選択してください。



8 [3 領域を削除] を選択して  キーを押します。

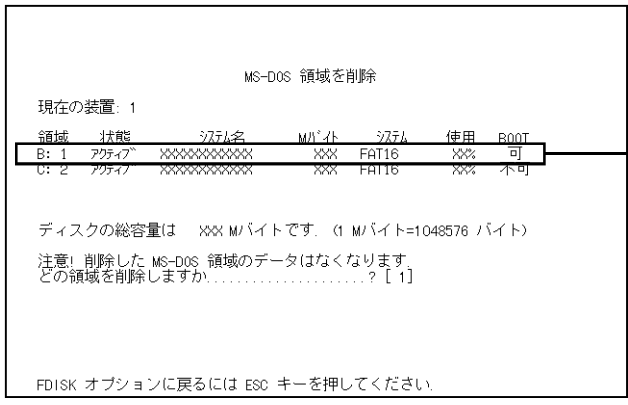


9 [1 MS-DOS領域を削除 または 2 非MS-DOS領域を削除]のどちらかを選択した後、 キーを押してください。Windows 95を使用していた領域は、MS-DOS領域ですので、通常は[1 MS-DOS領域を削除]を選択してください。



MS-DOS領域が存在しない状態で[1. MS-DOS領域を削除]を選択する、または、非MS-DOS領域が存在しない状態で[2. 非MS-DOS領域を削除]を選択すると、「削除するXXX領域はありません」と表示されます。この場合、**[ESC]** キーを押すと手順7の画面に戻ります。再度、手順8、9をやりなおしてください。
非MS-DOS領域とは、MS-DOSまたはWindows 95で直接利用できない形式でフォーマットされた領域のことです。

10 削除する領域を選択し、 キーを押します。



ハードディスクの第1パーティションの領域は必ず削除する



再セットアップは、ハードディスクの第1パーティションの領域に対して行いますので、必ず第1パーティションの領域は削除してください。

次のようなメッセージが表示されます。

よろしいですか(Y/N).....?

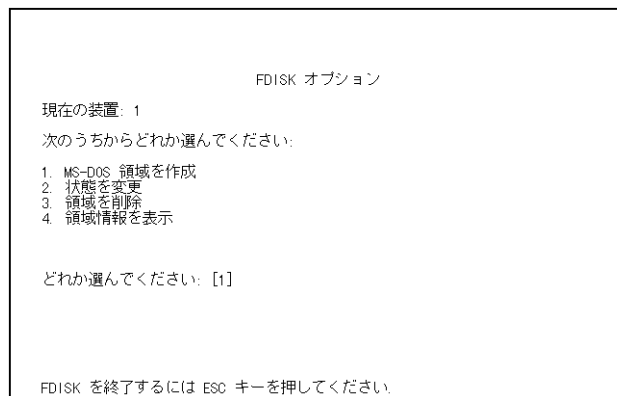
11 Y キーを押し、続けて N キーを押します。
領域が削除されます。

削除したい領域が複数ある場合は、手順10、11を繰り返してください。



システムがセットアップされていた領域は必ず削除してください。それ以外の領域を削除する必要はありません。

12 領域の削除が終了したら、**[ESC]** キーを押して次の「FDISK オプション」画面を表示させておいてください。



次に「2. 領域を確保する」に進んでください。

2. 領域を確保する.....

一度削除した領域は、領域を確保する作業が必要になります。領域は削除した領域の容量だけ確保することができます。また、領域は複数に分割することもできます。

例1 最大サイズを割りあてる

- ハードディスクの容量が4000Mバイトある場合

Aドライブ 2047Mバイト	残り(空き容量) 1953Mバイト
-------------------	----------------------



ハードディスクの容量で、MS-DOS 6.2およびWindows 95で確保可能な領域の最大サイズは2047Mバイトです。したがって、本機内蔵のハードディスクのようにハードディスクの総容量が2047Mバイト以上ある場合は、1つの領域としてハードディスク全体を利用することはできません。

例2 3つの領域に分割する

- ハードディスクの容量が4000Mバイトある場合

Aドライブ 2000Mバイト	Bドライブ 1000Mバイト	Cドライブ 1000Mバイト
-------------------	-------------------	-------------------



- 再セットアップ中は、フロッピー - ディスクドライブから Windows 95再セットアップを起動しているため、フロッピーディスクドライブがAドライブ、ハードディスクの第1パーティションがBドライブ(以降C、D...)と表示されています。
- ハードディスクを複数に分割した場合、1番目の領域を第1パーティションとします。



本機では、セットアップ先は必ずAドライブ(第1パーティション)となりますので、Aドライブは、購入時の状態に戻すために必要な領域のサイズをご確認の上、作業を進めてください。(P.3)

削除した領域に最大のサイズを割りあてる場合には、


「2-A. 最大のサイズを割りあてる」を、

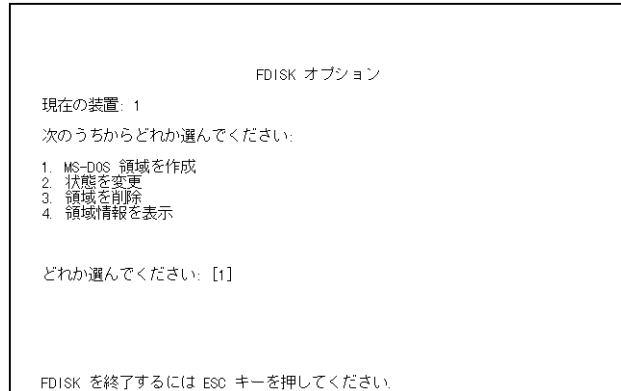
複数に分割する場合には、



「2-B. 領域を複数に分割する」を、

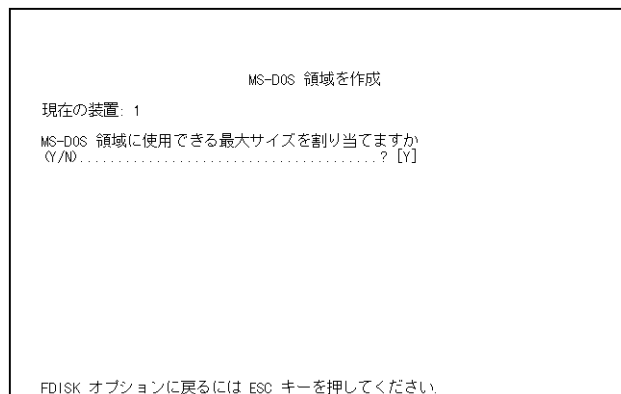
ご覧ください。

2-A. 最大のサイズを割りあてる


- 1** 次の画面が表示されていることを確認してください。
[1 MS-DOS領域を作成] を選択して  キーを押します。




- 2** 次の画面が表示されたら、 キーを押して  キーを押してください。




「MS-DOS領域を作成しました」というメッセージが表示されます。

- 3**  キーを押してください。
[FDISKオプション]の画面が表示されます。



ハードディスクにまだ空き容量が2047Mバイト以上ある場合は、 キーを押して、手順1～3を繰り返して、残りの容量を確保してください。

- 4** [2 状態を変更] を選択して  キーを押してください。

5 変更したい領域の番号を入力して、**[Enter]** キーを押します。



ハードディスクの第1パーティション(P. 17)の領域は以降の6 ~ 8の手順を行って、必ずB00Tを「可」にしてください。

6 「1 アクティブ/2 スリープ」と表示されるので、**[1]** キーを押して、**[Enter]** キーを押します。

7 「システム名を入力してください」と表示されるので、変更がなければ **[Enter]** キーを押します。変更したい場合はシステム名を入力し **[Enter]** キーを押します。

8 「1 B00T可/2 B00T不可」と表示されるので、**[1]** キーを押して、**[Enter]** キーを押します。これで、B00Tが「可」になりました。

9 **[ESC]** キーを押します。
[FDISKオプション]の画面が表示されます。

10 [4 領域情報を表示]を選択して **[Enter]** キーを押してください。

11 削除したすべての領域が作成されており、第1パーティションの領域のB00Tが「可」になっていることを確認したら、**[ESC]**キーを押してください。

領域	状態	システム名	MB`位	システム	使用	B00T
B: 1	アクティブ	※※※※※※※※※※	※※	FAT16	※※	可
C: 2	アクティブ	※※※※※※※※※※	※※	FAT16	※※	

ディスクの総容量は ※※ Mバイトです。(1 Mバイト=1048576 バイト)

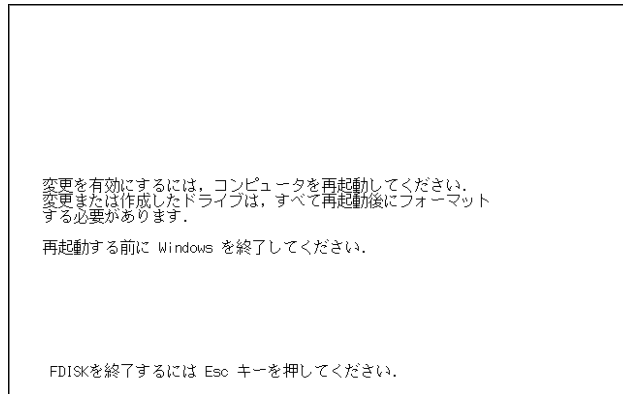
続けるには ESC キーを押してください。



お使いのシステムの状況によって、表示される画面の内容は異なります。

12 [FDISKオプション]の画面が表示されますので、**[ESC]**キーを押してください。

13 次の画面が表示されますので、メッセージをよく読んで**[ESC]**キーを押してください。

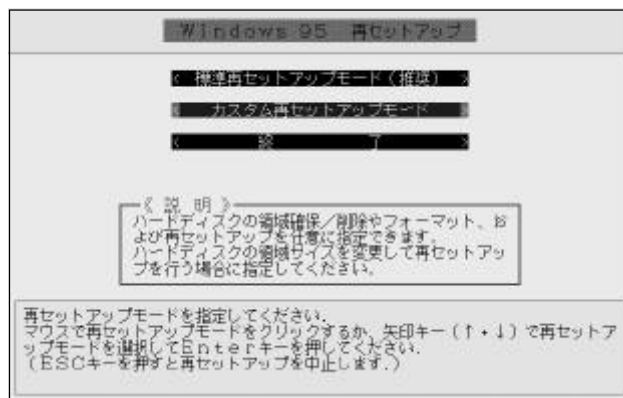


- 14** 次の画面が表示されます。
[OK] をクリックするか、[Enter] キーを押します。



本機が自動的に再起動され、「再セットアップについて」の画面が表示されます。何かキーを押してください。

- 15** 次の手順へ進むため、「カスタム再セットアップモード」を選択して、[Enter] キーを押してください。





これで領域確保は終了しました。

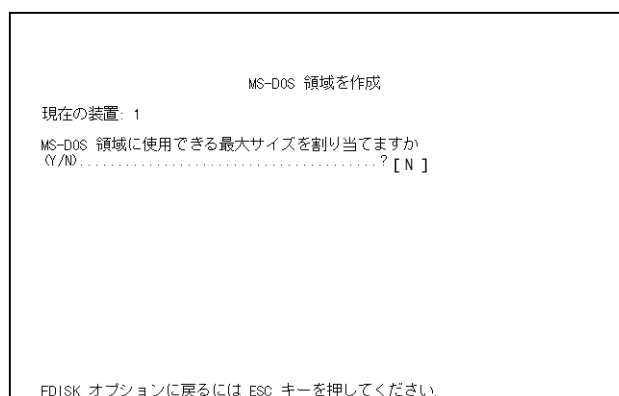
次に「3. ドライブをフォーマットする」に進んでください。


2-B. 領域を複数に分割する

ハードディスクの領域は複数に分けることができます。

1 [FDISK オプション] の画面で、 [1 MS-DOS領域を作成] を選択して  キーを押します。

2 次の画面が表示されたら、**[N]** キーを押して  キーを押してください。




3 「MS-DOS領域を作ります...」と表示されたら、確保したい領域のサイズを、Mバイト単位または全体に対する割合で入力し、 キーを押してください。

例 4000Mバイトのハードディスクに、2000Mバイトの領域を確保する場合



バイト単位で入力した場合	「2000」と入力
全体に対する割合で入力した場合	「50%」と入力



- ハードディスクの容量で、MS-DOS 6.2およびWindows 95で確保可能な領域の最大サイズは2047Mバイトです。
- 1番目の領域(第1パーティション)には、最低限システムを再セットアップできるだけの容量が必要です。「必要なハードディスクの空き容量」( P.3) をご覧になり、十分な容量の領域を確保してください。










手順3を繰り返して、複数の領域を確保します。

4 領域の作成が終了した後、**[ESC]** キーを押してください。
[FDISK オプション] の画面が表示されます。

- 5 [2 状態を変更] を選択して  キーを押してください。
- 6 変更したい領域の番号を入力して、 キーを押します。





ハードディスクの第1パーティション(図P. 17)の領域は以降の7 ~9の手順を行って、必ずB00Tを「可」にしてください。

- 7 「1 アクティブ/2 スリープ」と表示されるので、 キーを押して、 キーを押します。
- 8 「システム名を入力してください」と表示されるので、変更がなければ  キーを押します。変更したい場合はシステム名を入力し  キーを押します。
- 9 「1 B00T可/2 B00T不可」と表示されるので、 キーを押して、 キーを押します。これで、B00Tが「可」になりました。
- 10  キーを押します。
[FDISK オプション]の画面が表示されます。
- 11 [4. 領域情報を表示] を選択して  キーを押してください。
- 12 削除したすべての領域が作成されており、第1パーティションの領域のB00Tが「可」になっていることを確認したら、 キーを押してください。

領域情報を表示


現在の装置: 1



領域	状態	システム名	MB 単	システム	使用	B00T
B: 1	アクティブ	XXXXXXXXXXXX	XXX	FAT16	XXX	
C: 2	アクティブ	XXXXXXXXXXXX	XXX	FAT16	XXX	

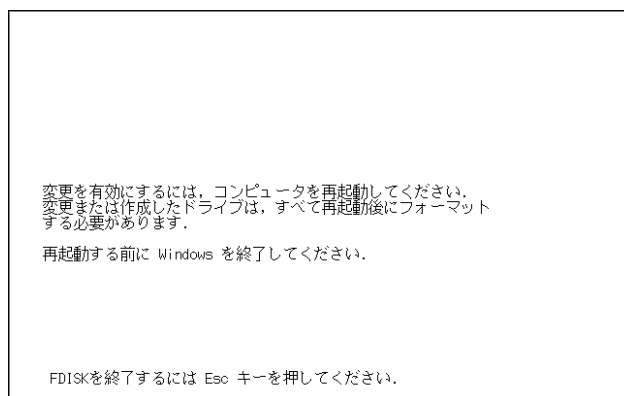
ディスクの総容量は XXX Mバイトです。(1 Mバイト=1048576 バイト)


続けるには ESC キーを押してください。

「可」になっていることを確認する

 お使いのシステムの状況によって、表示される画面の内容は異なります。


- 13 [FDISK オプション]の画面が表示されますので、 キーを押してください。
- 14 次の画面が表示されますので、メッセージをよく読んで キーを押してください。

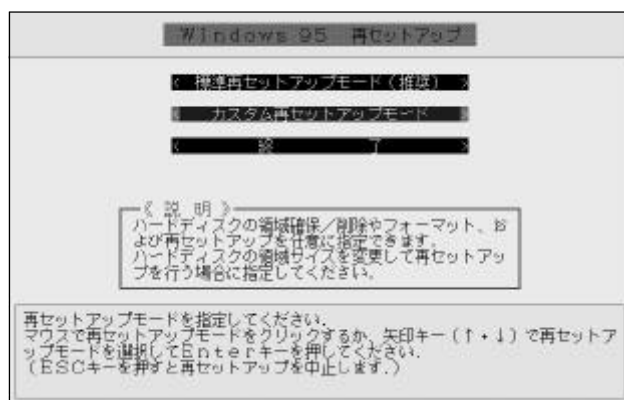


- 15** 次の画面が表示されます。
[OK] をクリックするか、 キーを押します。



本機が自動的に再起動され、「再セットアップについて」の画面が表示されます。何かキーを押してください。

- 16** 次の手順へ進むため、[カスタム再セットアップモード] を選択して  キーを押してください。




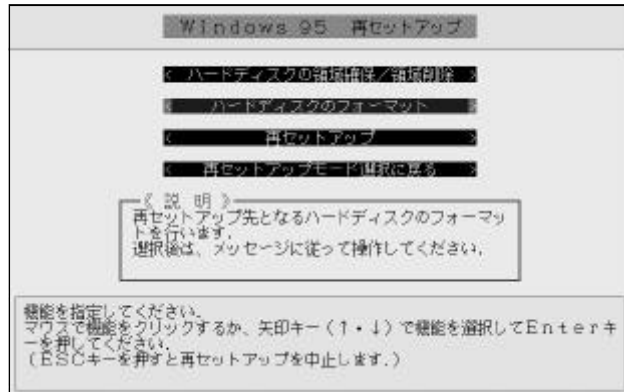
これで領域確保は終了しました。


次に「3. ドライブをフォーマットする」に進んでください。

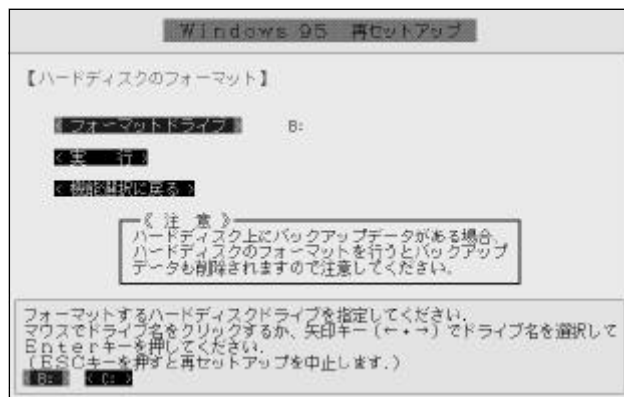
3. ドライブをフォーマットする.....

新しく確保しなおした領域はフォーマットの作業が必要です。




- 1 次の画面が表示されていることを確認してください。
[ハードディスクのフォーマット] を選択して、 キーを押します。



- 2 フォーマットするドライブを選択して  キーを押します。





ハードディスクの1番目のドライブ(B:)は、ここで必ずフォーマットしてください。

- 3 [実行] を選択して  キーを押します。
- 4 「注意!ドライブB:の固定ディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」というメッセージが表示されますので、 キーを押して  キーを押してください。

フォーマットには、5分程度かかります(フォーマットを行うドライブのサイズにより、多少異なります)。

ドライブのフォーマットが終了すると、次のメッセージが表示されます。

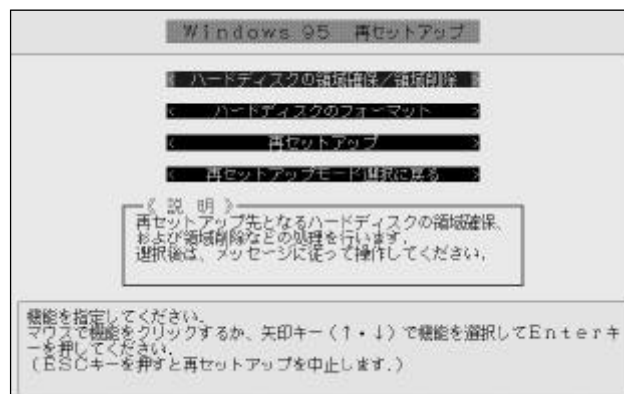
ボリュームラベルを入力してください。
半角で11文字、全角で5文字以内
必要なければ、Enterキーを押してください。

必要であれば、「ボリュームラベル」を入力し、 キーを押してください。
必要なければ、 キーを押してください。



「ボリュームラベル」は再セットアップ後にも設定することができます。
「ボリュームラベル」は、[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]でハードディスクの名前として表示されます。

次の画面が表示されます。



新しく領域を作成しなおしたドライブが複数ある場合は、手順1～4を繰り返してフォーマットしてください。



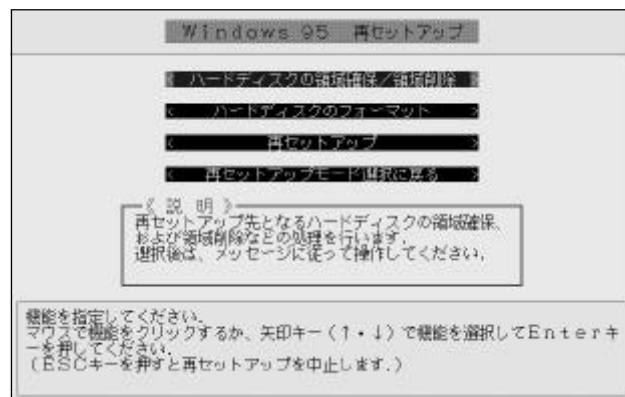
「1. 領域を削除する」で領域の削除をしなかったドライブについては、フォーマットの作業は必要ありません。領域の削除をしなかったドライブをフォーマットすると、そのドライブに入っていたデータがすべて失われるのでご注意ください。

次に「4. システムを再セットアップする」に進んでください。

4. システムを再セットアップする.....

ここからは、実際にハードディスクにシステムを再セットアップしていきます。


- 1 画面が次の画面になっていて、フロッピーディスクドライブに「システムインストールディスク」がセットされていることを確認してください。



- 2 DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットしてください。



CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする方法やDVD-ROMドライブから取り出す方法については、『ステップアップガイド』をご覧ください。


- 3 [再セットアップ] を選択して  キーを押します。

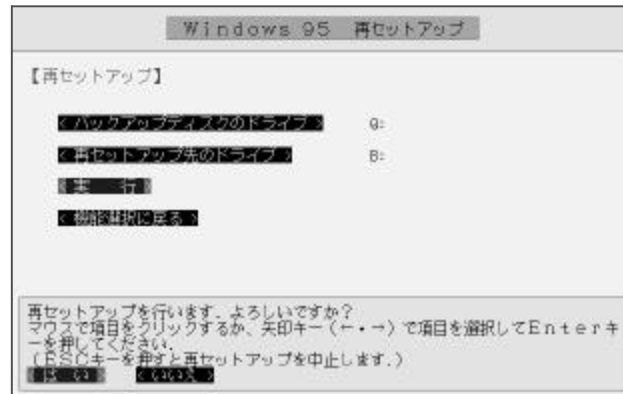
- 4 バックアップディスクドライブに「Q:」再セットアップ先のドライブに「B:」と表示されていることを確認してください。



再セットアップ先のドライブは、必ずハードディスクの1番目のドライブ(B:)を選択してください。

この状態では、フロッピーディスクドライブがAドライブになっているので、ハードディスクの第1パーティションはBドライブとなります。

- 5** [実行] を選択して  キーを押します。
システムの再セットアップがはじまります。システムの再セットアップには、60分程度かかります。




システムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。また、電源スイッチを押さないでください。

システムの再セットアップの途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示される場合は、画面の指示にしたがってフロッピーディスクを入れ替えてください。


システムの再セットアップが終了すると次の画面が表示されます。



- 6** フロッピーディスクドライブからシステムインストールディスクを、DVD-ROMドライブからバックアップCD-ROMを取り出してください。

7 [OK をクリックするか、 キーを押します。



「固定ディスク起動メニュープログラム」が起動した場合は、そのまま  キーを押してください。

自動的にシステムが再起動し、しばらくすると「Windows 95 セットアップウィザード」の画面が表示されます。



次に「5. Windows 95の設定をする」に進んでください。

5. Windows 95 の設定をする.....

システムの再セットアップが終わったら、初めて本機の電源をONにしたときと同じように、Windows 95の設定をする必要があります。

1 [ユーザー情報]の画面で、キーボードを使って名前と会社名を入力します。



- ・ ユーザー情報は、Windows 95のライセンスを受けている人の情報を入力してください。
- ・ 会社名は入力しなくてもかまいません。ただし、セットアップ完了後に変更することはできません。
- ・ 名前を入力しないと、次の手順に進むことはできません。
- ・ ここで入力した名前は、セットアップ完了後に変更することはできませんので、ご注意ください。
- ・ ここから先、手順6の画面が表示されるまで、**キャンセル** ボタンをクリックしないでください。



漢字変換の例 「田中」と入力する場合

「たなか」と入力します。

キーボードの **T A N A K A** を押します。

キーボードの (スペース)キーを押します。

入力した文字が漢字に変換されて **田中** のように表示されます。

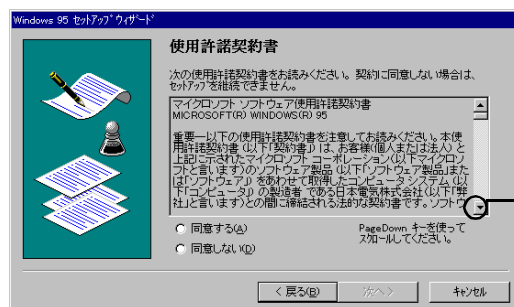
変換したい漢字が表示されない場合は、キーボードの (スペース)キーを押します。

- ・ 難しい読み方の名前などを入力する場合は、まず ~ の手順で「た」を交換し、次にもう一度 ~ の手順で「なか」を入力するというように、漢字1文字ごとに区切って入力してください。
- ・ ひらがなを入力して、キーボードの (スペース)キーを押さずに キーを押すと、ひらがなのまま確定することができます。
- ・ 間違えて入力してしまった場合は、 キーを押すことで1文字ずつ削除することができます。

文字入力に関する詳しい説明は『かんたんスタートガイド』を、キーボードに関する詳しい説明は『ステップアップガイド』の「キーボード」をご覧ください。

2 入力が終わった[次へ]ボタンをクリックします。

3 [使用許諾契約書]を確認します。確認が終わった[同意する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約書]は大切な情報ですので、画面をスクロールして、必ずお読みください。



スクロールボタンをクリックまたは、キーボードの キーを押すと、画面がスクロールする

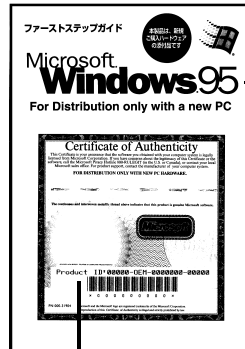


[同意しない]をクリックするとセットアップが中止されます。

4 次の画面が表示されます。キーボードを使ってProduct ID番号を入力します。



Product ID番号は添付の『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



「Windows 95」と書かれているマニュアルです。

表紙のデザインは実際のものとは異なる場合があります。

Product ID番号はここに記載されています。



- ・ 0(ゼロ)と0(オー)、1(イチ)と1(アイ)など、似ている文字を間違えないように注意してください。
- ・ 『Microsoft® Windows® 95ファーストステップガイド』は紛失しないように気を付けてください。
表紙に記載されている「Product ID番号」がないと、再セットアップできません。

5 入力が終わったら[次へ]ボタンをクリックします。

6 次の画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。



ここでの完了は、本機のセットアップすべての完了ではありません。絶対に電源をOFFにしないでください。

- 7** 自動的にシステム環境の設定を行います。システム環境の設定の途中で「プリンタウィザード」の画面が表示されます。プリンタを使用する場合は「次へ」ボタンをクリックします。



画面に表示される指示にしたがって、「プリンタの製造元とモデルの設定」などの項目を設定してください。

プリンタの設定はセットアップ後に行うこともできます。どのように設定しているかわからない場合やプリンタを使用しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



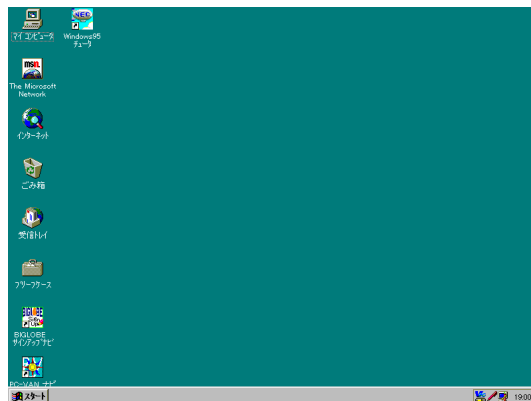
- ・ プリンタの設定をした場合、プリンタの接続状態に関係なく、1～5分ほど時間がかかることがあります。途中で電源をOFFにしないようご注意ください。セットアップが正常に行われなくなります。
- ・ プリンタの設定について詳しくは、『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』、『ステップアップガイド』の「プリンタを使う」およびプリンタの各マニュアルをご覧ください。

- 8** 自動的にシステムが再起動し、しばらくすると、「Windows 95へようこそ」の画面が表示されます。



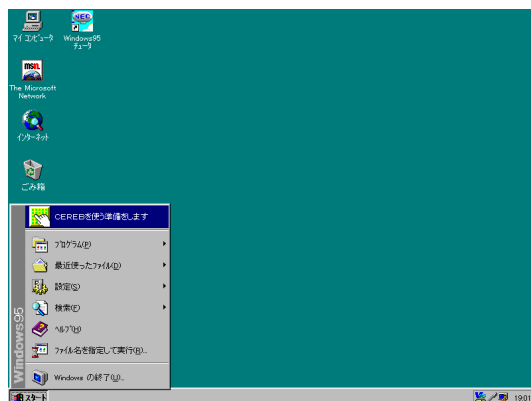
「固定ディスク起動メニュープログラム」が起動した場合は、そのまま「Enter」キーを押してください。

9 [閉じる] ボタンをクリックしてください。次のような画面が表示されます。



ここでWindows 95のデスクトップ画面が表示されますが、本機のセットアップはまだ完了していません。ここではアプリケーションソフトを起動したりせず、必ず手順10以降の操作を行ってセットアップを完了させてください。セットアップを完了しないと誤作動の原因となります。

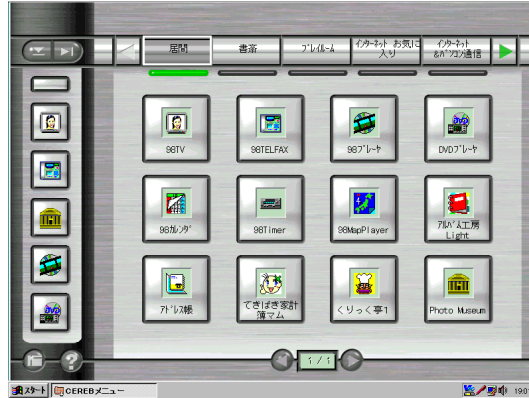
10 [スタート] ボタンをクリックするとスタートメニューが表示されるので、[CEREBを使う準備をします] にマウスポインタを合わせてクリックします。



11 次の画面が表示されるので [次へ] ボタンをクリックします。



12 次のような「CEREBメニュー」の画面が表示されます。



これで、Windows 95の設定は終了です。

以上でカスタム再セットアップの作業はすべて終了しました。

他のOSを利用する

MS-DOS6.2を本機で利用するために必要な知識や注意事項について説明しています。

MS-DOSを利用する

Windows 95以外のOSをご利用になる際の注意
Windows 95以外のOSをご利用になる場合は、Windows 95がインストールされている領域とは別の領域に、インストールやアップグレードなどを行ってください。インストールやアップグレードを行う際には、MS-DOSに関する知識が必要となります。MS-DOSに添付されているマニュアルをよくお読みの上、ご利用ください。

MS-DOS を利用する

本機では、以下のMS-DOSをお使いになることができます。

- ・ MS-DOS 6.2基本機能セット (以降、MS-DOS 6.2)

次に、別売のMS-DOS6.2を利用する場合に必要なアップグレードの手順について説明します。

MS-DOS 6.2の利用.....

ここでは本機で別売のMS-DOS6.2を利用する場合に必要なアップグレードの手順について説明します。



- ・ Windows 95がインストールされている領域またはMS-DOS6.2をインストールする領域が圧縮されている場合は、その領域を展開してからインストールやアップグレードを行ってください。
- ・ Windows 95がインストールされている領域を解放して、MS-DOS6.2をインストールする場合は、領域を解放する前に作業が必要となります。後述の「参考 Windows 95の領域を解放してMS-DOS6.2をインストールする」をご覧ください。また、Windows 95がインストールされている領域がMS-DOS6.2から認識できない場合も、同様の手順にしたがってアップグレードしてください。なお、MS-DOS 6.2以外のソフトウェアをアップグレードする場合は、Windows 95の領域を解放しないでください。
- ・ MS-DOS6.2ではDVD-ROMの読み込みはできません。

MS-DOS 6.2のアップグレード

本機で別売のMS-DOS 6.2を利用するには、必ず次の手順でアップグレードを行ってください。

- (1) システムディスクの複製
- (2) 複製したシステムディスクのアップグレード
- (3) MS-DOS6.2のインストール
- (4) インストールしたMS-DOS6.2のアップグレード

アップグレードにあたっては、本機を「テキスト起動モード」で起動しておく必要があります。起動モードの切り替えは、「システムセットアップメニュー」で行います。詳しくは、別冊の『ステップアップガイド』をご覧ください。

(1) システムディスクの複製

以下の手順では、次のものがが必要です。準備しておいてください。

- ・ MS-DOS 6.2システムディスク(別売)
- ・ 2HDフロッピーディスク:1枚

2HDフロッピーディスクには、あらかじめ「アップグレード済みシステムディスク#1」と書いたラベルを貼っておいてください。



Windows 95の領域を解放して、MS-DOS6.2をインストールする場合は、別途フロッピーディスクが必要となります。その際は指示にしたがって用意してください。詳しくは後述の「参考 Windows 95の領域を解放してMS-DOS6.2をインストールする」をご覧ください。

はじめに、「MS-DOS 6.2システムディスク#1」に対してアップグレードを行います。アップグレードによりシステムディスクの内容を書き換えますので、必ずシステムディスクの複製を作成し、複製に対してアップグレードを行ってください。オリジナルのシステムディスクは大切に保存しておいてください。

- 1** 本機の電源をONにして、「Windows 95を起動しています...」のメッセージが表示されたら、キーボードの[F8]キーを押してWindows 95起動メニューを表示させます。
- 2** Windows 95起動メニューから「コマンドプロンプトのみ」を選択します。システムディスクのアップグレードが終了するまでは、起動したコマンドプロンプトのまま続けて作業してください。
- 3** FORMATコマンドを使って、あらかじめ用意しておいた「アップグレード済みシステムディスク#1」を初期化します。
「アップグレード済みシステムディスク#1」をフロッピーディスクドライブにセット後、コマンドプロンプトから次のように入力し、1.25Mバイトでフォーマットします。
<ドライブ名>には、「アップグレード済みシステムディスク#1」をセットしたフロッピーディスクドライブを指定します。

```
FORMAT <ドライブ名>: /U /M 
```

- 4** DISKCOPYコマンドを使って「システムディスク#1」の複製を作成します。複製はあらかじめ用意した「アップグレード済みシステムディスク#1」に作成します。



DISKCOPYコマンドの使用方法是コマンドプロンプトで次のように入力して、確認してください。

DISKCOPY /?

(2) 複製したシステムディスクのアップグレード

引き続き、複製した「システムディスク#1」に対してアップグレードを行います。

- 1** フロッピーディスクドライブに「アップグレード済みシステムディスク#1」をセットします。
- 2** コマンドプロンプトから次のように入力し、アップグレードを実行します。
<ドライブ名>には「アップグレード済みシステムディスク#1」をセットしているドライブ名を指定します。

```
CD ¥DOS62   
UPDOS62 <ドライブ名> : 
```

(3) MS-DOS6.2のインストール

引き続き、MS-DOS6.2のインストールを行います。

「アップグレード済みシステムディスク#1」を使って、ハードディスクまたはフロッピーディスクへのインストールを行います。

MS-DOS6.2をハードディスクにインストールする場合は、すでに確保済みの領域を解放してから、インストールを行ってください。MS-DOS6.2のインストールを行うために必ず20MB以上の領域を確保し、MS-DOS6.2のすべての機能をインストールしてください。

MS-DOS6.2のインストール方法については、MS-DOS 6.2のマニュアルをご覧ください。



- MS-DOS 6.2に添付されているWindowsモジュールは、Windows 95ではご利用になれません。
- 「アップグレード済みシステムディスク#1」はこのディスクを作成した環境でのみ使用できます。DVD-ROMドライブなどのハードウェア構成を変更すると、正常にMS-DOSをインストールできない場合がありますので、最初からアップグレードをやりなおしてください。

(4) インストールしたMS-DOS6.2のアップグレード

引き続き、「アップグレード済みシステムディスク#1」を使ってインストールしたMS-DOS6.2を、再度アップグレードします。

1 MS-DOS6.2をインストールしたハードディスク、またはフロッピーディスクから起動します。
DOSシェルの画面が表示された場合は、キーボードの[F3]キーを押して終了してください。

2 コマンドプロンプトから次のように入力して、カレントドライブ(操作の対象になっているドライブ)をWindows 95がインストールされているハードディスクのドライブに変更します。
ドライブ名 にはWindows 95のドライブを指定してください。

<ドライブ名> : [↵]

3 コマンドプロンプトから次のように入力し、カレントディレクトリを変更した後、アップグレードを実行します。
ドライブ名 にはMS-DOS6.2をインストールしたドライブを指定します。
ハードディスクにインストールした場合はディレクトリ名も指定してください。

フロッピーディスクにインストールした場合

CD ¥DOS62 [↵]

UPDOS62 <ドライブ名> : [↵]

ハードディスクにインストールした場合

CD ¥DOS62 [↵]

UPDOS62 <ドライブ名> : ¥<ディレクトリ名> [↵]

4 アップグレードが終了したら、再起動してアップグレードしたMS-DOS6.2をお使いください。

参考 Windows 95の領域を解放してMS-DOS6.2をインストールする

Windows 95がインストールされている領域を解放して別売のMS-DOS 6.2をインストールする場合は、必ず次の手順で行ってください。

1. システムディスクのアップグレード

アップグレードに必要なファイルのバックアップを行います。

以下の手順では、MS-DOS6.2でフォーマット済みの2HDフロッピーディスクが2枚必要になりますので、あらかじめ準備しておいてください。

次に手順を説明します。

- 1** 「MS-DOS 6.2のアップグレード」の「(1)システムディスクの複製」と「(2)複製したシステムディスクのアップグレード」を行います。
- 2** 続けてフロッピーディスクドライブに用意したフロッピーディスクをセットし、コマンドプロンプトから次のように入力し、バックアップディスクを作成します。
ドライブ名 にはフロッピーディスクをセットしたドライブを指定します。画面の指示にしたがってフロッピーディスクを入れ替えてください。

```
CD ¥DOS62 
FBACK62 <ドライブ名> : 
```

メッセージに従って、作成したフロッピーディスクにラベルを貼ります。

- 3** 「MS-DOS 6.2のアップグレード」の「(3)MS-DOS6.2のインストール」を行います。

2. インストールしたMS-DOS6.2のアップグレード

引き続き、「アップグレード済みシステムディスク#1」を使ってインストールしたMS-DOS6.2を、再度アップグレードします。

- 1** MS-DOS6.2をインストールしたハードディスクから起動します。
DOSシェルの画面が表示された場合は、キーボードの **[F3]** キーを押して終了させます。
- 2** フロッピーディスクドライブに前述の「1. システムディスクのアップグレード」の手順2で作成した「バックアップディスク#1」をセットします。

- 3** コマンドプロンプトから次のように入力し、カレントドライブを「バックアップディスク#1」をセットしたドライブに変更して、アップグレードに必要なファイルをハードディスクにリストアします。

ドライブ名1 にはフロッピーディスクのドライブ名を、ドライブ名2 にはMS-DOS6.2をインストールしたハードディスクのドライブ名を入力します。

<ドライブ名1> :

FBACK62 <ドライブ名2> :

<ドライブ名2> :

- 4** 以降は、「MS-DOS 6.2のアップグレード」の「(4) インストールしたMS-DOS6.2のアップグレード」の手順3以降を行います。

MS-DOS 6.2の強化機能

MS-DOS 6.2をアップグレードしたことにより、本機で使用できる強化機能は次のとおりです。

POWER コマンド

POWERコマンドは、MS-DOSシステムやアプリケーションソフトの動作を監視して、本機をパワーセーブ(消費電力制御)状態にします。

本機はシステムセットアップメニューの「省電力の設定」メニューでパワーセーブモードの設定が可能です。POWERコマンドを使用することで、MS-DOSシステムレベルでのパワーセーブが可能になります。



本体の「省電力の設定」メニューに「CPU自動停止」の設定がある場合は、「設定しない」にしてご使用ください。「省電力の設定」については別冊の『ステップアップガイド』をご覧ください。

・ POWER コマンドの組み込み

POWERコマンドを使用するには、CONFIG.SYSファイルに次の一行を追加して本機を再起動します。

```
DEVICE=A : ¥DOS¥POWER.EXE
```

POWERコマンドは、UMBメモリに十分な空き容量が存在する場合、組み込み時に自動的にUMBメモリを利用します。

また、POWERコマンドには次のようなスイッチがあります。

```
DEVICE=A : ¥DOS¥POWER.EXE [ADV [ : MAX|REG|MIN]|STD|OFF] [/LOW]
```

ADV[: MAX | REG | MIN]

アプリケーションソフトやハードウェアのアイドル(何もしていない)時間を検出して、本機をパワーセーブ動作状態にします。MIN、REG、MAXの順にパワーセーブされる度合いが高くなりますが、本機の動作速度が遅くなる可能性も大きくなります。動作速度に問題が発生する場合は、MINを指定してください。これらの指定を省略した場合は、REG指定の状態で作動します。

STD POWERコマンドの機能を無効にします。また、本体に内蔵の省電力機能がある場合は、設定された値を有効にします。

OFF POWERコマンドの機能を無効にします。また、本体に省電力機能がある場合は、設定された値を無効にします。

/LOW UMBメモリに十分な空き容量がある場合でも、UMBメモリを使用しません。



POWERコマンドは、ADDDRVコマンドでは組み込まないでください。

・ POWER コマンドの動作の変更

POWERコマンド組み込み後に動作の設定を変更する場合は、コマンドラインから次のように指定します。スイッチの内容は組み込み時と同様です。

```
POWER [ADV [ : MAX|REG|MIN] STD|OFF] 
```



POWERコマンドを組み込んでいない場合、コマンドラインからの設定変更はできません。

高分解能クロックデバイス

HRTIMER.SYSは、MS-DOSで1/100秒単位での時刻の取得 / 設定を行う場合に使用する高分解能クロックデバイスです。

・ HRTIMER.SYS の組み込み

高分解能クロックデバイスを使用するにはCONFIG.SYSファイルに次のような1行を追加して本機を再起動します。

```
DEVICE=A: ¥DOS ¥HRTIMER.SYS
```



HRTIMER.SYSは、ADDDRVコマンドを使用して組み込まないでください。

また、オンラインヘルプの注意事項も必ずお読みください。

MS-DOS6.2を利用する場合の注意

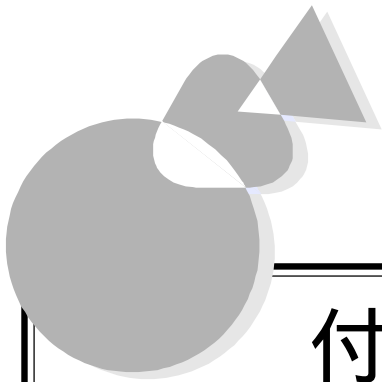
本機では、以下のコマンドはご利用になれません。

- ・ MAXLINK-LITE
- ・ RSDRV.SYS
- ・ INSTCD.EXE

固定ディスク起動メニュープログラムについて

本機の固定ディスク起動メニューで自動起動の設定/解除を行うには、キーボードの **[F1]** キーを使用します。

固定ディスク起動メニュープログラムについて、詳しくは付録の「固定ディスク起動メニューの利用」または、MS-DOS6.2のマニュアルをご覧ください。



付録

本機を利用するための補足情報です。

固定ディスク起動メニューの利用
FAT32ファイルシステムの利用

付
録

固定ディスク起動メニューの利用

ここでは、本機で固定ディスク起動メニューを利用する上での必要事項について説明します。

固定ディスク起動メニュー

[固定ディスク起動メニュー]は、ハードディスクのどの領域(ドライブ)からシステムを起動するかを選択するためのプログラムです。

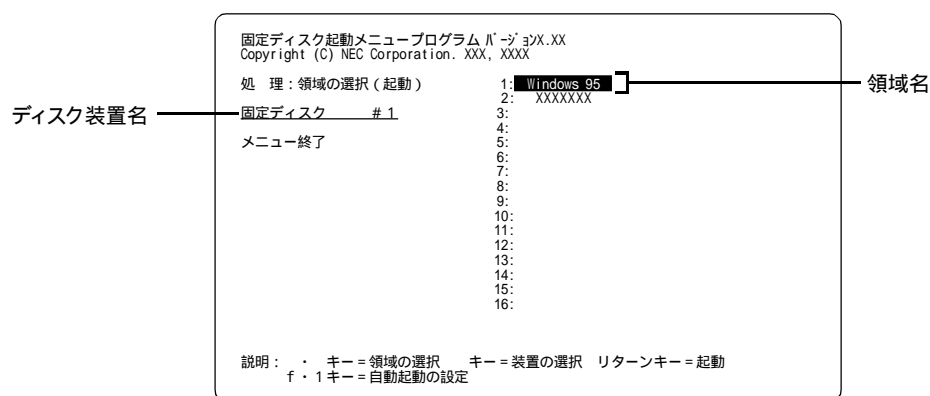
本機では、内蔵ハードディスクが複数の領域に分割されており、かつBOOT可に設定されている領域が2つ以上ある場合に、電源をONにしたときに[固定ディスク起動メニュー]が表示されます。



- ・ 購入時の状態ではBOOT可になっている領域は1つだけのため、[固定ディスク起動メニュー]は表示されずにWindows 95が起動します。
- ・ 上記の条件を満たしていながら、[固定ディスク起動メニュー]が表示されない場合は、次の操作を行ってください。
 - ・ キーボードの[TAB]キーを押しながら電源をONにします。このとき「ピピピ...」という音が鳴るまで、[TAB]キーを押したままにしてください。

[固定ディスク起動メニュー]の画面では、どの領域(ドライブ)からシステムを起動するかを選択できます。

画面左には、ディスク装置名が、画面右にはそのディスク装置内の領域名が表示されています。



固定ディスク起動メニュー



システムを起動するには、、、、キーで起動したい領域に反転表示をあわせて、キーを押します。

なお、[FDISK オプション]の「4. 領域情報を表示」で「BOOT」が「不可」になっている領域や、「状態」が「スリープ」になっている領域は選択できません。

BOOTを変更するには、[FDISK オプション]の機能を利用します。[FDISK オプション]は、MS-DOS プロンプトの画面から、

FDISK

と入力して起動します。表示された画面で、「2. 状態を変更」を選択した後、画面の指示にしたがって領域の「BOOT」を「可」に設定してください。

自動起動の設定

[固定ディスク起動メニュー]を表示しないで、あらかじめハードディスクの指定した領域から自動起動することができます。自動起動の設定を行うと、次回起動時からは固定ディスク起動メニューは表示されません。

自動起動の設定を行うには、次のように操作してください。

- 1 [固定ディスク起動メニュー]が表示されているときに、自動起動したい領域を反転表示させ、キーを押します。
- 2 「選択した領域を自動起動に設定しますか(Y/N)?」というメッセージが表示されるので、キーを押します。キーを押すと自動起動の設定は行われません。
- 3 次のように表示されて、自動起動に設定されます。
 - ・ 領域名の横 「*」
 - ・ 画面右下 「*は自動起動に設定された領域です」

自動起動の変更/解除

自動起動の変更/解除は[固定ディスク起動メニュー]で行います。
自動起動に設定されていると[固定ディスク起動メニュー]は表示されませんので、次のような操作で[固定ディスク起動メニュー]を表示させます。

- 1** 装置の起動時にキーボードの[TAB]キーを押し続けます。
- 2** 「ピピピ…」という音が鳴ってから[TAB]キーから指を離します。
- 3** 固定ディスク起動メニューが表示されたら、次のように操作します。
 - ・ 変更する場合
[f・1]キーを押して自動起動を解除した後、「 自動起動の設定 」と同じ操作を行ってください。
 - ・ 解除する場合
自動起動を解除したい領域名を反転表示させ、[f・1]キーを押します。

FAT32 ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 95では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。

FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特長があります。

- ・従来のFAT16では、2GBの容量を超える領域を扱えませんでした。FAT32では理論上2TB(2,048GB)の容量まで扱えます。



FAT32に関する情報は、[Windows]フォルダのGENERAL.TXTにも記載されています。

FAT32を使用する場合の注意

本機の出荷時のハードディスクの領域はFAT16です。通常は、FAT16のまま使用してください。FAT32を使用する場合は、次の注意事項を確認してください。

- ・内蔵ハードディスクにカスタム再セットアップでシステムを再セットアップする場合システム領域(ハードディスクの第1パーティション)をFAT32にしないでください。
- ・本機に添付されているアプリケーションやご使用になっているソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。
 - ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、[システムツール]グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、[ドライブスペース]ではFAT32のドライブを圧縮できません。
 - ・Windows 95がインストールされている領域をFAT32に変更した場合は、98TELFAXの自動受信機能は使用できません。
- ・FAT32は、本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。以下のOSでは、FAT32のドライブに保存されたデータやファイルにアクセスできません。

市販されているWindows 95
MS-DOS6.2

FAT32 の設定方法

FAT32を利用するには、[FDISK オプション] を使用して領域を作成します。
[FDISK オプション] は、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

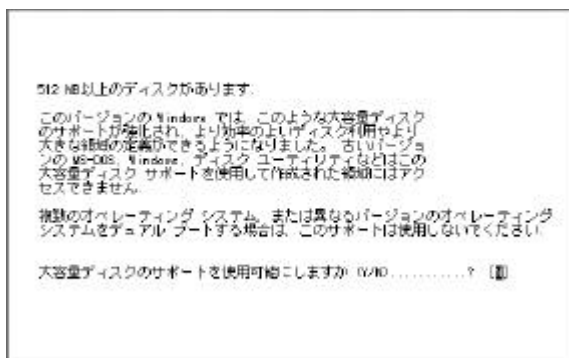


領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルは、領域を削除する前に、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

[FDISK オプション] は、Windows 95を起動して、MS-DOSプロンプトの画面から次のように入力します。

FDISK 

ハードディスクの容量が512MBを超える場合は、大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。



Y を選択した後、領域(ただし、512MBを超える領域)を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。



作成した領域のサイズが512MBよりも小さい場合は、自動的にFAT16が適用されます。

[FDISK オプション] で領域を作成した後、Windows 95を再起動してドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

CEREB
セレブ